

2026年9月

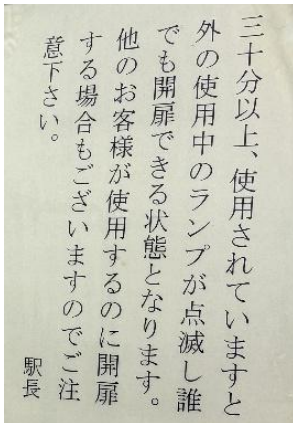
9月2日



JR 京葉線の幕張豊砂駅(千葉市美浜区)は、2023 年(令和 5 年)3 月 18 日、開業だから、「プラットフォームと車両との

隙間」が、どの扉口からも、車いす乗客は、「自力乗降」できそうだった。

9月3日



都営地下鉄三田線の本蓮沼駅(板橋区)の自動扉・多機能トイレ内のお知らせ表示・・・この利用時間の“30 分”は長い方で、20 分で、外部に通報して、施錠が解除されるところがある。車いす使用者によっては、悩みの種の機能であると思われる。

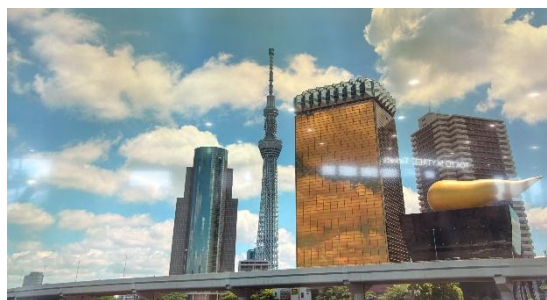
9月4日



都営地下鉄三田線の本蓮沼駅の 2022 年(令和 4 年)頃の

「ホーム部分せり出し」・「ホーム部分かさ上げ」の整備状況 で、車いす乗客は、扉口限定だが、「自力乗降」可能である。

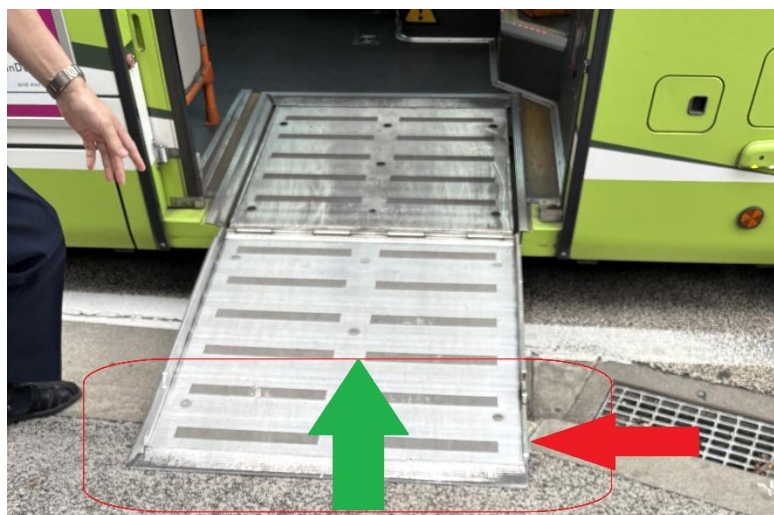
9月6日



2012年(平成24年)5月22日に開業した

「東京スカイツリー」(東京都墨田区押上 1-1-2)の展示

9月7日



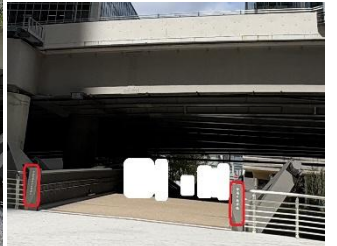
路線バスのノンステップバスでも、不断に乗り慣れていないと、思わぬトラブルに遭遇する。反転式スロープの縁端部が、バス停歩道部にしっかり掛かっていないと、電動車いすの乗り込み時、スロープから脱落すれば転倒・ケガの事故になるから注意が必要だ。

9月9日



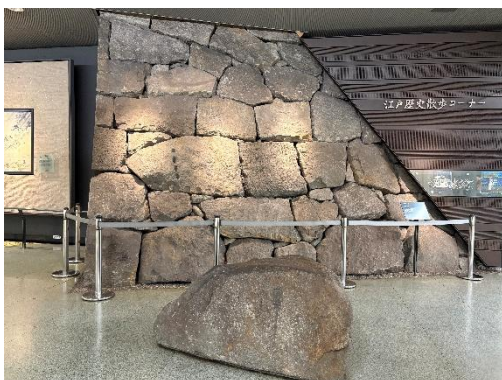
2023 年(令和 5 年)2 月 18 日、

供用開始された千葉市役所新本庁舎の「補助犬トイレ」は、屋外・
屋根無しなので、ちょっと、淋しいかな・・・という感じ。



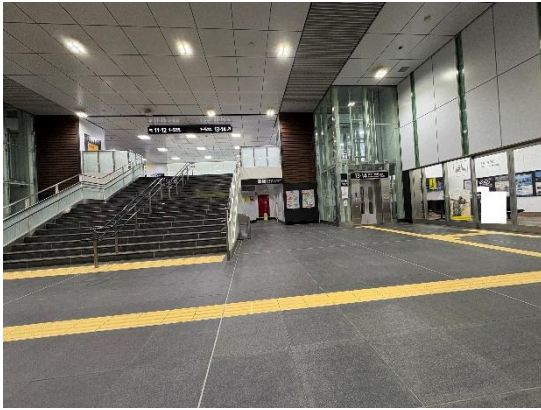
2026 年(令和 8 年)7 月 31 日、供用開始の防災船着場「鎌倉河岸船着場」
(バリアフリー・スロープ整備)と「仲通り散歩橋」を横断した。

9月10日

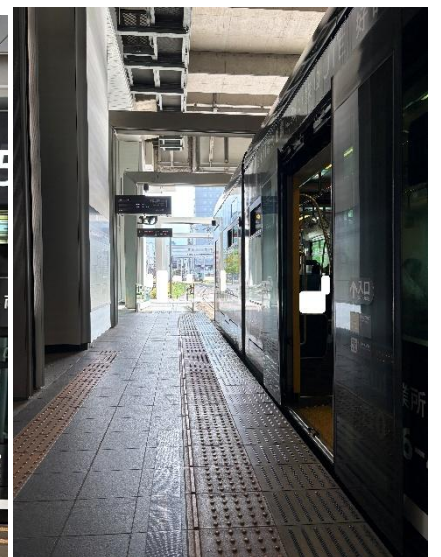


市ヶ谷駅(千代田区)の構内に「江戸歴史散歩コーナー」があり、
江戸の絵地図が床一面に描かれている。

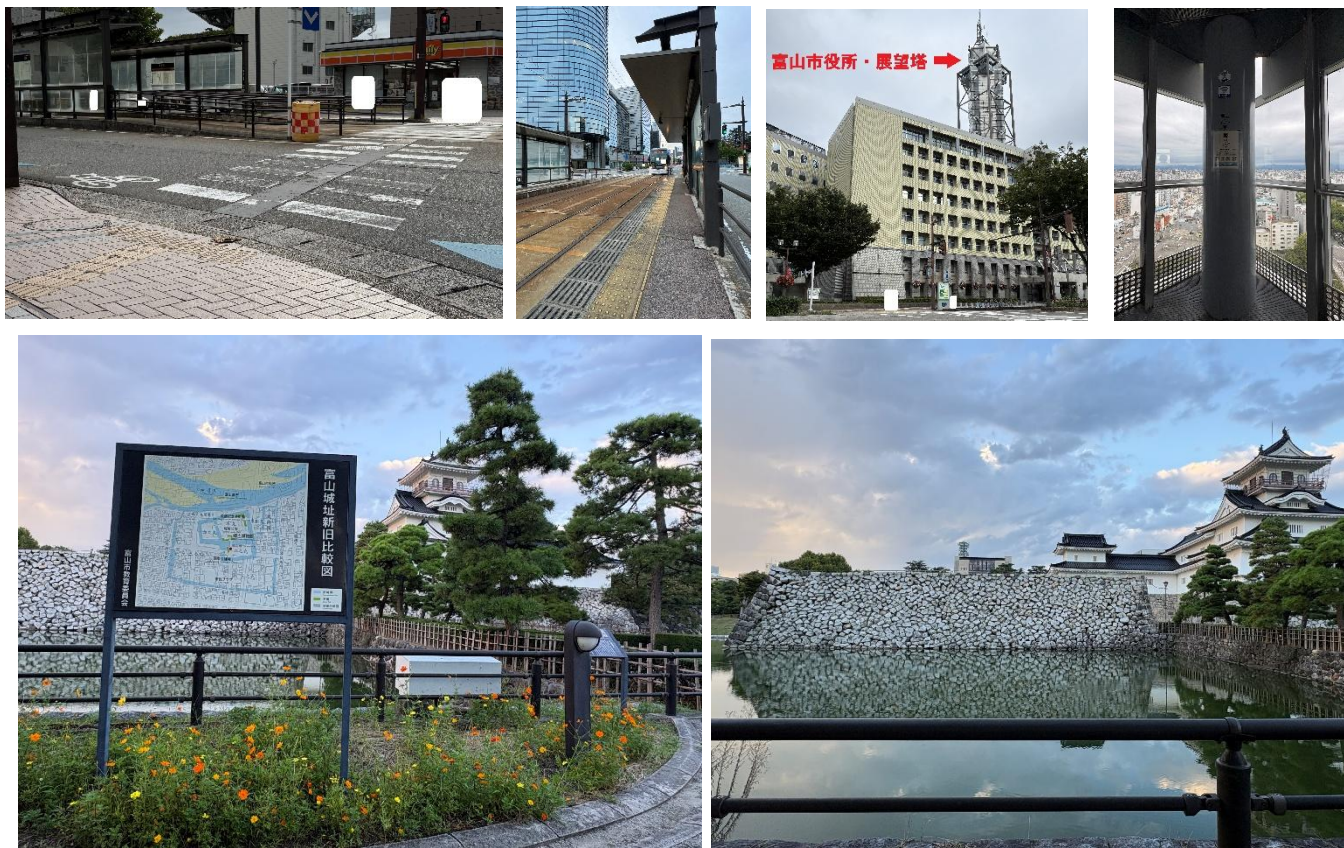
9月12日



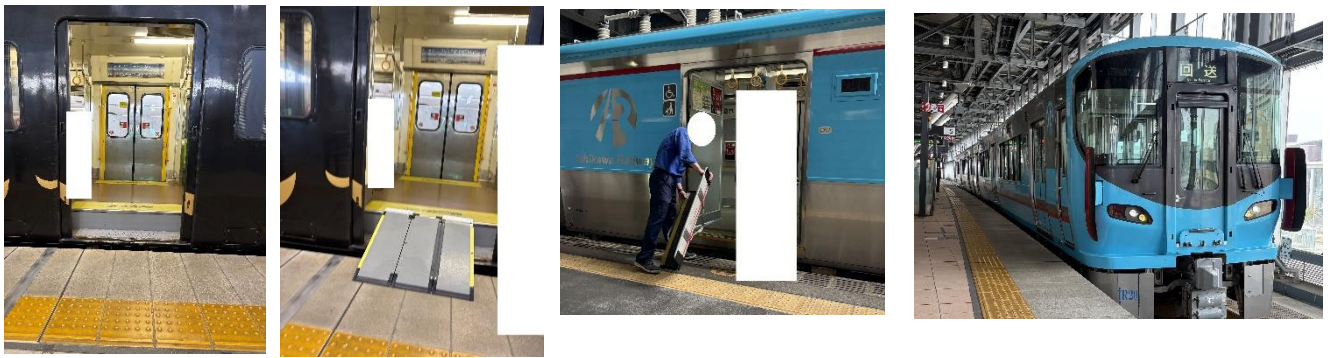
2015年（平成27年）3月、リニューアル供用開始された JR北陸新幹線・富山駅。



JR 北陸新幹線・あいの風とやま鉄道線・(LRT)富山港線(※)・
(路面電車)富山軌道線(※)とが、短絡動線乗り換え可能で、
完全屋根伝いで、移動制約者には、とても便利な駅となっていました。
(※)<車いす乗客・自力乗降可能フラット>



富山軌道線の「県庁前停留場」から、「富山市役所 本庁舎展望塔」へ
エレベーターで行き、360度の眺望を楽しみました。
富山城址公園の脇を通りました。

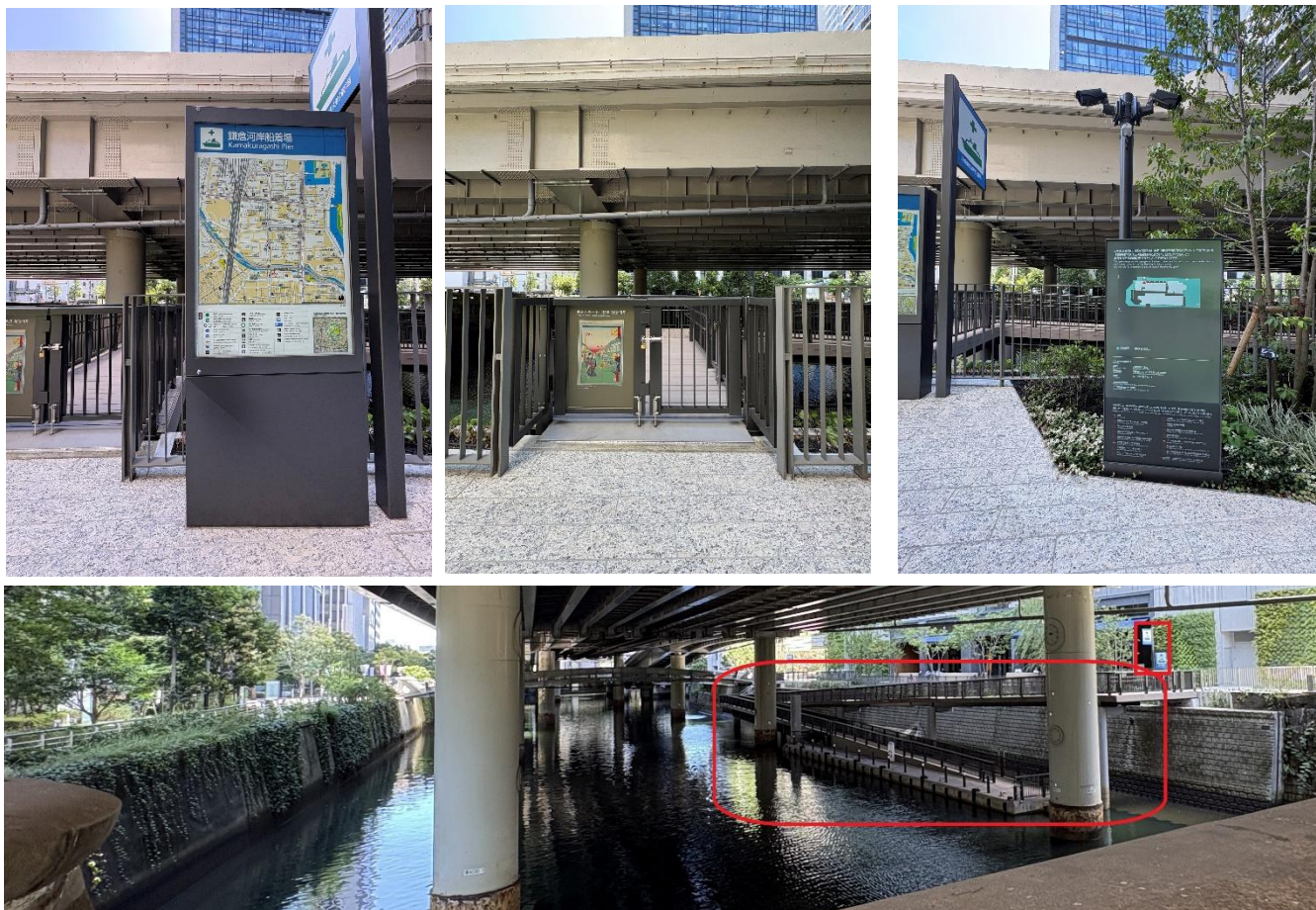


あいの風とやま鉄道線は、高床式車内段差有り車両だったので、
「ホーム渡り板」乗降が急勾配で、車いす乗客には、難有だった。



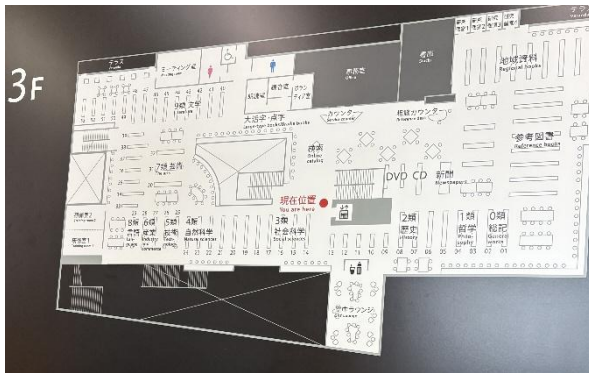
(路面電車)万葉線（高岡軌道線・新湊港線）で使用されている 2004 年
（平成 16 年）1 月から営業運転開始の超低床電車「アイトラム」の
「ドラえもん ترام」に乗車した。「ホーム渡り板」不要で、ほぼ<車いす
乗客・自力乗降可能フラット>だった。

9月14日



2026 年(令和 8 年)7 月 31 日(金)、供用開始のバリアフリー化ジグザグ・スロープ・防災船着場「鎌倉河岸船着場」

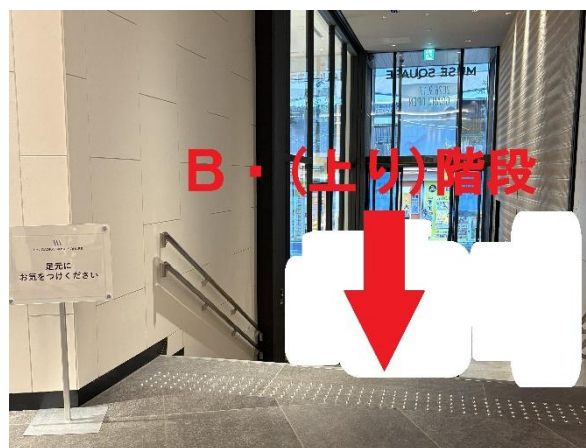
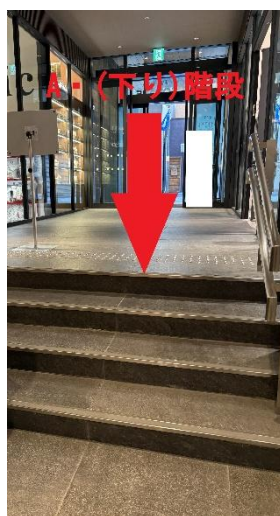
9月16日



2017年(平成29年)11月27日、オープンした“土浦市立図書館(in 再開発ビル「アルカス土浦」)”と 2015年(平成27年)9月24日、供用開始の土浦市役所本庁舎とも、JR常磐線・土浦駅西口2階と完全屋根伝いペデストリアンデッキで直結していて、傘さし等に困難な移動制約者には、とても便利だ。

ちなみに、このペデストリアンデッキ通路上の屋根伝いルーフは、2009年(平成21年)に、住民提案制度に基づいた全国初の基本構想としての「土浦市バリアフリー基本構想」の交通バリアフリー協議会での「土浦市まちづくり良くしたいグループの要望の成果」である。

9月17日



2026 年(令和 8 年)9 月 17 日(木)開業の(大規模再開発)

「自由が丘 ミューズスクエア」(目黒区)(商業施設)は、

屋外から出入口 4 箇所のうち、2 箇所が、階段という、

しかも併設斜路は、無い造りで、それぞれ階段境界は、黄色ではなく、

シルバー色の視認しづらい警告ブロックで、移動制約者には、

はなはだ、ユニバーサル・デザインではなさそうな造りだった。

9月18日



2026年(令和8年)9月16日(水)、運行開始の <東京 BRT『東京駅～選手村ルート』> を、偶然知りえて、早速、乗車トライした。

同車両は、何十回も乗車していたので新鮮味は無かった。

新ルートは、速達性が売りの東京 BRT のはずなのに、今回は、やたらと信号待ちになり、売りの速達性を感じれ無かった。

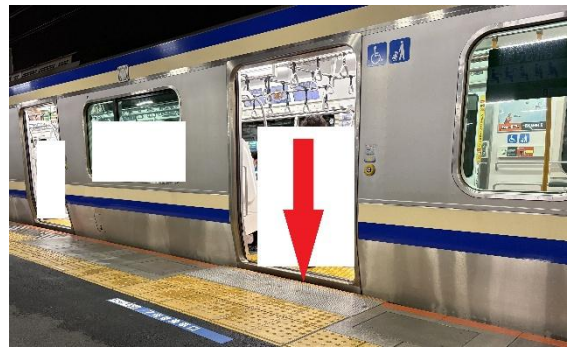
9月20日



2013 年(平成 25 年)オープンの複合
公共施設「サウスピア」内の[武蔵浦和
コミュニティセンター]は、JR 埼京線・
JR 武蔵野線の武蔵浦和駅(さいたま市)
とペデストリアンデッキ経路で

結ばれているので、とても便利だった。各階自動扉多機能トイレがある。

9月23日



JR 総武快速線の新日本橋駅(東京都中央区)での ホームドア未整備段階での
車いす乗客・自力乗降可能化・「ホーム部分せり出し」状況



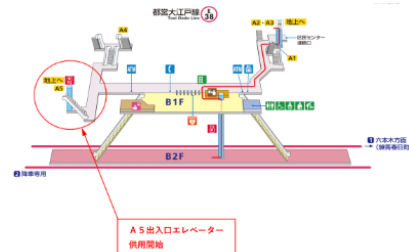
東京メトロ半蔵門線の手町駅(千代田区)での 車いす乗客・自力乗降
可能化・「ホーム部分せり出し」状況

9月24日

都営地下鉄大江戸線 光が丘駅 A5 出入口エレベーター供用開始のお知らせ

いつも都営地下鉄をご利用いただき、誠にありがとうございます。
この度、A5出入口付近において工事を行ってりました新設エレベーターを下記
日付より開放し、供用開始いたしました。
工事期間中はご協力いただき、ありがとうございました。

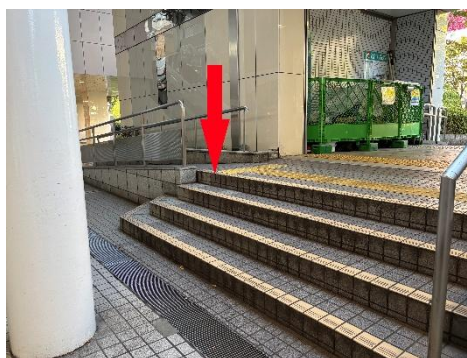
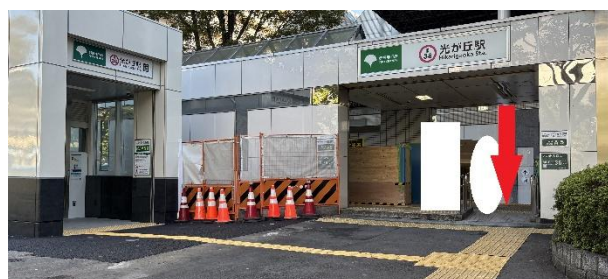
エレベーター供用開始
令和8年8月29日（土）始発より



＜問い合わせ先＞
発注者：東京都交通局工務事務所 TEL 03-3815-7203
東京都交通局は、駅のバリアフリーに取り組んでいます。



2026 年(令和 8 年)8 月 29 日(土)、使用開始された都営地下鉄大江戸線の光が丘駅(練馬区)の区民移動制約者の長年の要望が実ったと言われている「(増設)A5 出入口スルーエレベーター(20 名乗り)」を利用した。増設されたエレベーターは、大型 20 名乗りで、しかも貫通型(スルータイプ)で、とても利用し易かった。



しかしながら、通常の A5 出入口から商業等民地内敷地に出入りする際の移動制約者用の直角出入りスロープの造りが、電動車いす使用者等には、とても階段転落危険性のある造りは、改善されていなかった。

9月26日



2013 年(平成 25 年)オープンの複合公共施設「サウスピア」内の
武蔵浦和コミュニティセンターの
こどもや車いす対応の高低差対応・水飲み器/
車いす対応公衆・電話/
JR 武蔵浦和駅とも接続しているペデストリアンデッキ通路

9月27日



東京モノレール羽田空港線・モノレール浜松町駅に、
2026 年(令和 8 年)6 月 13 日(土)使用開始の、
(新)スルーエレベーター(24 名乗り)と(新)多機能トイレを点検した。
(新)エレベーターは、従来のより、大幅に大きくなり、
しかも貫通型(スルータイプ)になったため、大変便利になった。
多機能トイレは、旧駅舎時には、無かったが、新設されて、自動扉で広くて
使いやすかったが、なんと整備位置取りが、一般乗客の上下エスカレーター・
階段⇄改札口・動線の視線と(新)多機能トイレの出入り動線とが干渉しており、
なんともデリカシーに欠ける位置取りだった。



JR 京浜東北線の浜松町駅を利用したら、新しい位置に(新)多機能トイレができていた。

近づいて驚いた。

なんと以前、改札口横にあったのは自動扉多機能トイレだったが、

今回新設された多機能トイレは、2箇所とも手動扉だった。

23 区内の JR 東日本の駅の多機能トイレは、99%自動扉だったのに・・・であった。

9月28日

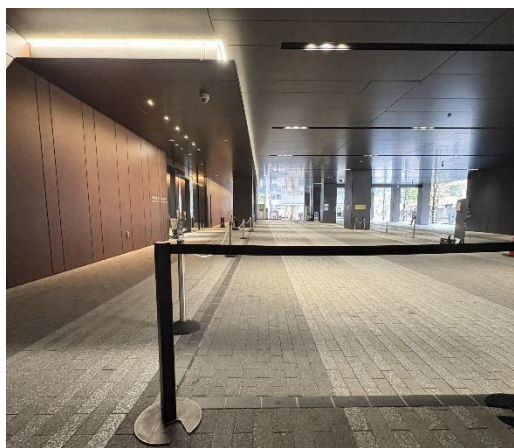


東京メトロ有楽町線の飯田橋駅・桜田門駅・有楽町駅での

「ホーム部分せり出し」位置「2号車－4」「9号車－1」の整備済み確認を行った。

上記いずれの位置も、車いす対応・「ホーム部分せり出し」位置案内表示をしていなかった。

9月30日



2023年(令和5年)10月10日、開庁の

川崎市新庁舎は、完全屋根ありの「車寄せ」であった。

多機能トイレは、1階は、自動扉であったが、上階には手動扉も多数あった。

補助犬トイレも整備されていたが、やはり屋外で屋根無しなのは、

仕方ないのか・・・残念だった。